

基軸

アベノミクス
恐るべき正体

⑤

同志社女子大学大学院教授・浜矩子氏に聞く



浜先生は、軍事大国化を目指す安倍政権の経済・安保政策を批判されています。昨年、強行された安保法制についてはいかがですか？

戦後、日本の軍国化に對する大いなる歯止めの役割を果たしてきたのが憲法9条です。その9条を踏み破ったのが安保法制です。

集団的自衛権の行使や

戦闘地域での後方支援といった軍事的対応は軍事的エスカレーションを招くだけでしよう。

戦争や殺し合いはしてはいけない。人間としての「原理原則」が大事

です。日本国憲法の平和主義の徹底が今こそ求められています。

許しがたいことに、それを積極的に放棄していくことが安倍政権の「積

極的平和主義」です。本来の平和主義から文脈が逸脱しています。

反アベ政治 第2ステージ

——安保法制の廃止を求めて野党共闘が広がっています。参議院の32の一人区の全区で統一候補の擁立が進んでいます。

いま、安倍政権への抗

議運動が第2ステージに入りました。私たちが目の当たりにしているのは、21世紀の市民革命と言えるでしょうね。老いも若きも顔触れも多彩。ここに希望があります。

立憲主義を破壊する安倍政権に、立憲主義を対峙していくことが大事。まさにこれからが本番です。野党は希望のともし

火を大きくするために、市民の声を裏切ることにならないよう強い危機意識と決意で最後まで共闘を広げてほしい。

その上で、安倍政権を本気で倒し、戦争法を廃案にするためには、安倍政権に変わる国民的連合政府を構想することも必

要になってくるでしょう。野党には大道団結して選挙協力の先を展望してもらいたいですね。

安倍政権の 補完勢力

大阪では、おおさか

維新に期待する府民も少なくなありません。

新自由主義的政策や改憲志向の点でおおさか維新は安倍政権の補完勢力となっています。現状への閉塞感に対し、仮想敵をつくって弱者や庶民の不満を煽る。米大統領選のトランプ候補へ

広がる支持とも似通っているのではないのでしょうか。

実態は人の痛みをわが痛みとして感じ取れない、「幼児的凶暴性」です。彼らの化けの皮をはがして、幻想を一過性の現象で終わらせなければなりません。

（つづく）

21世紀の市民革命



会談する野党党首ら（社民党HPから）